第５学年Ｂ組道徳科学習指導案

授　　業　　者　　小室　真紀
研 究 協 力 者　　小池　孝範
教材分析協力者　　吉沢　文武

１　主題名　　相手を思う　【Ｂ（１０）友情・信頼】
　　教材名「友の命」（東京書籍）

２　子どもと主題

(1) 子どもについて

「男女の友だち関係」（教材名「心のレシーブ」）の学習では，主人公の気持ちの変化に着目したとき，「人の心は，すべてが意地悪な悪い心なのではなく，優しい部分も同時に含まれているんだな」という発言から，だからこそ悩むし，なかなかすぐに行動に移せない難しさを改めて感じる子どもたちであった。

「異性から注意されると，素直に受け入れられない自分がいるのはどうしてだろう」とつぶやいた子どもの言葉がきっかけとなり，議論が展開された。「異性の友だちに対して思い込みがあるのかもしれない」という友達の発言を受け，男女での感じ方の違いがあることも視野に入れながら互いに信じようとする気持ちで接したいと話し始めた子どもたちの表情には，異性への対応の仕方を前向きに捉えようとする明るさが見えた。

(2) 主題について

友情とは，一方向な思いでは成立しない。互いが同等の強さで互いを信じている，互いを大切に思い合っているといった双方向の関係である。そこには，自分の利益だけではない，相手の気持ちを慮る心の力が，信頼し合える真の友情を支える大きな要素となってくる。揺らぐ気持ちは存在し得ない。しかし，一旦，信じようと決めた心に，ときに迷いが立ちはだかり，決断が揺らぐこともあるだろう。周囲からのうわさが耳をかすめたり，自分の利益が目の前にちらついたりしたとき，自分はその信頼の心とどう対峙していけるのか。相手を信じようと心に決めた最初の自分の気持ちに照らしたとき，友達を信じる気持ちに確かさが生まれ，互いに「信頼」し合えている安心感が自身の心を温かくしていく。

本教材「友の命」は，友達のために命を投げ出してでも助けようとするデモンと，その気持ちに誠意をもって応えようとするピシアスの信頼し合う友情の姿を描いた話である。互いに信じ合い，約束を守ろうとする友情の姿を王様はあざ笑う。友を心から信頼する誠実な関係を信じることができない王様をよそに互いを真っすぐに信じ合おうとする思いの深さが，人の心を引きつける。なぜデモンは身代わりになることを引き受けたのか。二つの理由が見えてくる。一つは，自分の命を犠牲にする価値のあるほどにピシアスへの友情を感じていたこと。もう一つは，ピシアスも自分と同じくらい強い友情を感じていたことに，デモンが気付かなかったことである。最終的には，互いを大切に思い合う心の強さが，疑い深い王様の心さえも変えてしまう。

本主題では，他者の多様な考え方や感じ方に触れることで【友情・信頼】の道徳的価値の理解を深めることをもとに，自己の生き方を見つめ直し，よりよい生き方を目指していこうとする道徳性「資質・能力」を高めていく。迷うことなく友達の身代わりになることを引き受けた理由を仲間と議論することを経て，自分の大事にしたい友情観が浮き彫りとなり，信頼し合える友情の在り方を心底考えるきっかけとなっていくだろう。

(3) 指導について

感動のもととなる約束を交わす場面に着目したとき「命をかけた身代わりへの決断に普通なら迷いが出るだろうに，なぜすぐ決断できたのか」という子どもたちの感動に支えられた驚きが，疑問となって浮かび上がることだろう。実生活とはかけ離れた話であるがゆえ，子どもたちの率直な印象を大事にした学習問題の設定の場としていきたい。

迷いなく決断したデモンの心の中を【友情・信頼】に限らず【思いやり・親切】【勇気】などのさまざまな道徳的価値から探っていく子どもたちの姿が予想される。いずれも十分に分かるのだが，「ピシアスはきっと帰ってまいります」と「ぼくは，君にかわりたかったのに…」との間に流れる【信頼】に照らした矛盾が気になってくるだろう。そこに潜むデモンの真意を問いかけることで，相手があって初めて成立するのが友情であるという気付きが改めて生まれていく。そこに，信頼し合う友情の在り方を考える発端をつくっていきたい。議論していく中で，多様な考え方に触れることを通し，自分にとって本当の友達はどういうものか自分を見つめ語り始めるだろう。「友情とは，互いに同じ強さで信じ合う関係である」「相手を信じきる気持ちを持ち続けたい」といった自分の友情観を見つめ直していく子どもの姿を期待している。

本主題ではぐくむ資質・能力を高めていくために，**友情は一方向では成立しないという気付きに着目することで，自分の利益や独りよがりな考えだけに目が行きそうになる自分の心を見つめ返し，相手の気持ちを慮る心の力が，同じ強さで信頼し合える真の友情を支えるという見方・考え方に通じていくことと願っている。**

また，友達同士信じ合う心の強さが，互いの不安要素を取り除き，心地よい居場所をつくり上げていくという「友情・信頼」に対する見方・考え方にもふれることで，友達と真っすぐに信じ合う友情関係を築いていきたいと思う気持ちを高め温めていく時間にしていきたい。

3　教材分析

【よさの発見】

【友情・信頼】男女の友だち関係「心のレシーブ」
　異性であっても，相手を分かり合おうとする気持ちが，信頼につながり，よりよい友だち関係を築き，友情の幅を広げていく。

主な場面	登場人物の心の動き	主な発問
ピシアスの身代わりを決意するデモン。	王様 ・人を信じるとは，ばかげている。 ・友情のために命をかけるとは考えられない。	
	ピシアス ・家族のことが心配。いろいろ話しておきたい。 ・デモンに心から感謝したい。 ・人を信じない王様に友情を見せてやる。	デモンの決意を聞いたピシアスの心の中はどうだっただろうか。
	デモン ・ピシアスのことは，自分のことのように分かる。助けたい。【友情】 ・ピシアスは約束を破ったことがない。信じよう。信じたい。【信頼】 ・家族に会いたいという願いを叶えてあげたい。【親切・思いやり】 ・命がかかると怖いが，自分ができる最善のことに勇気を出そう。【勇気】 ・友だちのためなら，命は惜しくない。【友情】【生命尊重】	デモンはなぜ迷うことなく身代わりを引き受けたのだろうか。
約束の日。「待って。待って。」とデモンの元へ叫びながら息を切らして走ってくるピシアス。	ピシアス ・信じてくれた友だちを裏切るわけにはいかない。 ・命をかけてまで身代わりになってくれてありがとう。	あなたにとって，本当の友達とは。
	デモン ・君にかわりたかったのに… ・ピシアスは同じように信頼してくれていたんだ。	デモンの真意は。
	王様 ・二人の友情にすっかり感心した。	何が王様の気持ちを変えたのだろうか。

【よさの発現】

【友情・信頼】相手を思う「友の命」
　友だちの気持ちを慮り，信じようと決断した自分の気持ちの強さを大事にし合うことは，互いの信頼の絆を深め，よりよい友情関係を築いていく。信頼し合うことが，安心できる心の居場所も築いていく。

4　本時の実際（1／1）

(1)　ねらい　迷うことなく身代わりを引き受けた理由について話し合うことをきっかけに，友達同士，信頼し合うことの尊さについて考え，信頼に応え友情を深めていこうとする気持ちを高める。

(2)　展開

時間	学習活動 （・は予想される子どもの姿）	教師の支援　評 価
3分	①　友達との関係についてのアンケート結果を見る。	・　友達との関係で普段感じていることの中から，対照的な考え方を提示し，友達を信じたい気持ちをもちつつ，悩むことがあることにふれる。
5分	②　「友の命」を読んで，話し合いたいことを決める。	・　「友の命」を読んで印象的な場面を取り上げ，その理由をもとに話し合いたい方向性を定める。
27分	③　デモンとピシアスが交わした約束について話し合う。 デモンは，なぜ迷うことなく身代わりを引き受けたのか。	・　普通なら，自分の命をかけて身代わりになることに恐怖を抱くことは当然である。それでもなぜ決断し，迷うこともなかったのかという子どもたちの疑問を取り上げた上で，迷うことなく決断したデモンの覚悟の大きさに，十分共感する場とする。 ・　友達を大事に思う気持ちの背景に【友情】【信頼】【おもいやり・親切】【勇気】といった多様な道徳的価値が内包された友情があることを実感する場とする。出された道徳的価値は，類型化し構造的に板書にしていく。
	「ぼくは，君にかわりたかったのに…」と言ったデモンの真意は	・　「ピシアスはそんな男ではありません。きっと帰ってまいります。」と王様に対して言い放つ言葉との矛盾が気になっている子どもの発言を取り上げ，デモンの真意を探るきっかけとする。 ・　「君にかわる」ということは結果的に「ピシアスは戻ってこない」ことを意味することをおさえる。友達を第一に考えながらも，ピシアスを信じ切っていなかったことに反省するデモン。同時に，息を切らしながら走ってくる友の姿を見て，一方通行だった友情が双方向だったことに気付かされるデモンの気付きの大きさに焦点を当てていく。 ・　資料から無理に引き離すことなく，デモンの気付きに寄り添うことで見えてきた自分が抱く【友情・信頼】の道徳的価値に対する考えを引き出していく。 ・　数人の【友情・信頼】に照らした考えを聞きながら浮かび上がってきた自分の経験や考えを小グループで共有し合う場をとる。
	あなたにとって本当の友達とは ・　友情とは互いに同じ強さで信じ合う関係なんだな。 ・　相手を信じ切る気持ちを持ち続けたい。 ・　思い起こすと，思っていた以上に，友達が自分のことを分かってくれていた。その気持ちに応えることも大事なんだな。	・　話し合いが，自分の描く友達関係にふれた発言になってきた頃合いをみて，あなたにとって本当の友達とはどういうことか問いかける。 ・　友情は一方向からの思いでは成立しないことや相手のことを思い決断した自分の心の強さを信じきることにふれた発言を取り上げていく。同時に，信頼し合う難しさを感じつつ，自分のこれからの姿にふれた考えも取り上げる。 ・　学んだ道徳的価値に対して自分の考えを深めていけるよう，友達のどの考えが今の自分の考えにつながったのかという投げかけをしていく。
10分	④　今日の学習を通して，感じたことや考えたことについて書く。	本当の友達とは何かを改めて考えることを通し，互いが同等の強さで互いのことを信じ合うことで，揺らがない友情関係を築き深めていこうとする気持ちを高める。（発言・シート）